

# 一 般 質 問

令和7年第2回(3月)三股町議会定例会

1

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	田中 光子	1 デマンド交通について	① デマンド交通のメリットや実証実験に踏み切った理由と2月に実証実験された結果は	町長
			② 実証実験に向けて住民への周知方法は、何回位どのように行われたか？また、今回のエリア設定を決めた理由は	町長
			③ 交通空白地域の他のところは、いつぐらいにデマンド交通が可能になるか	町長
			④ デマンド交通と路線定期型交通、それぞれの特徴を踏まえた上で、住人ニーズに合った方法を選択することが大切だと考えるが、より使いやすく便利な交通の今後の展望は	町長
		2 墓じまいについて	① 町営墓地での墓じまいの相談件数は	町長
			② どのような流れや手続きによって墓じまいを進めていくのか	町長
			③ 墓じまいにかかる費用の一部の助成はないか	町長
			④ 「子供たちに負担が掛からない」「自分の想いに合っている」などがポイントでいろいろの形での埋葬が考えられるが、本町でも樹木葬などの区画を設置できないか	町長
		3 GIGAスクール端末の更新について	① GIGAスクール端末の更新計画はどうなっているのか	教育長
			② 本町においては、何台程度を新端末に買い替え、旧端末の処分をする必要があるのか	教育長
			③ GIGAスクール端末等の処分に当たっては法に基づき国の認定を受けた再資源化業者との連携は図られているのか	教育長
			④ 個人情報保護の対策は	教育長
⑤ GIGAスクール端末の処分委託及びデータ消去等の予算措置は	教育長			
2	岩津 良	1 各地区における廃棄物の処理(ごみ問題)リサイクル集積所の管理及び公民館加入率の関連について	① 【三股町廃棄物の処理及び清掃に関する条例】において、(第3条 2)「町に、廃棄物の適正処理等に関する町民及び事業者の自主的な活動を支援し、これらに関する意識の高揚を図らなければならない。」とされているが、具体的に活動の支援及び意識高揚を図る為に実施された施策や内容は。	町長
			② 各地区の可燃ごみ等の集積所、またリサイクル集積所の数はどのくらいあるのか。また、その内で可燃ごみ等における、箱・檻型等のごみステーションの数はいくらか。	町長
			③ 一般家庭から排出される、ごみの鳥獣等による散乱防止・環境美化の促進として、組立式等の集積所費用の購入設置の補助は行えないのか。	町長
			④ リサイクル集積所において、推進及び管理の仕分けにかかる担い手不足が懸念されていくとなった場合、町として今後何か支援【集積所の看板設置等に設備も含め】を検討はできないか。	町長
			⑤ 公民館・支部の未加入者における対応の中で、支部によって様々な徴収状況が見受けられる。ごみ収集は住民が平等に受けられるサービスであるが公民館・支部に加入促進をする事において町の見解は。	町長 教育長
		2 近隣公園の駐車整備について	① 町内の近隣公園と位置付けする【新馬場・稗田・植木・一町田・蓼池】公園において、駐車スペースを整備することは検討できないか。	町長
		3 地方公務員(町職員)の働き方について	① 町職員等における副業について、どのような場合許可しているのか。また、その件数は。そして、副業並びに兼業について明確な基準はあるのか。	町長 教育長
			② 窓口の開庁時間を短縮・変更を導入する自治体が増えている。職員の時間外手当削減や業務改善などの働き方改革や業務の生産性向上を図る上でも、有用だと思うがその見解は。	町長 教育長

# 一 般 質 問

令和7年第2回(3月)三股町議会定例会

2

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	
3	中原 美穂	1 自治公民館運営について	① 自治公民館の変革を促進するための三股町が考えるビジョン、予定はあるのか。今後、町民に対して自治公民館改革の方針を示すための手段はあるのか。さらに、町民との意見交換会等や検討会は実施されているのか。	教育長	
			② 持続可能な自治公民館運営に向け、行政はどのような改善策を検討できているのか。また、各地区での加入率低下による存続の危機に対する現状の対策や支援策・援助について問う。自治公民館に対して、建物・備品(エアコン等)に関する支援を実施されているか。	教育長	
			③ 自治公民館が防犯灯の電気代を支払っているが、令和2年6月一般質問において、平成25年よりLDE化に取り組み、長寿命・省エネ・経済性に優れていることから維持経費の軽減を図っているとの回答でした。当時、町内に1736基設置されていたと認識していますが、現在の設置基数並びにLEDに変更された防犯灯はいくつあるのか。都城市ではLED化にかかる補助支援があるが、三股町の方針は。	教育長 町長	
		2 公共下水道について	① 指定区域のこれまでの進捗状況と、今後の各地域における計画や対応は。	町長	
			② 蓼池地区の汚水処理整備は、公共下水道として進めるべきではないか。	町長	
			③ 人口減少を見据えた今後の下水道整備計画について問う。また、多発する災害や南海トラフ地震、洪水などに対する対策はどのように考えているのか。	町長	
		3 交流拠点施設整備事業(五本松)について		① PPPはPFIよりも多様な手法が活用できるため、契約内容や財務状況の透明性をどのように確保していくのか。また、契約形態が多様であることから、自治体の管理能力が問われると考えるが、どのような事業スキームを想定し対応を検討されているのか。さらにPFIからPPPへの移行により契約や運営の柔軟性が向上するとされているが、具体的にどのようなスキームを採用し柔軟性を高める予定は。	町長
				② PPP事業にはどのような計画があるのか。PFIに比べて民間の関与度が広く、運営・管理面でも主体的な役割を果たす割合が多いとされているが、自治体が一定の財政支援を行う必要が生じる根拠について問う。PPPは民間の創意工夫を活かしやすいとされているが、具体的にどのような手段で民間企業のアイデアやノウハウを活用する計画があるのか問う。	町長
				③ PPPでは自治体の財政負担軽減やリスク分散が可能とされているが、今回のプロジェクトでは自治体と民間でどのようにリスクを分担する方針であるのか、また、民間側のリスク責任はどのように考えているのか。	町長
	④ PPP導入にて、契約内容や財務状況の透明性確保が課題とされているが、PPP導入後、その効果をどのように検証し、結果に応じてどのように改善していく予定なのか、具体的な仕組みや方針について問う。また、住民への説明責任を果たすために、どのような仕組みや方針を検討されているのか。			町長	
	⑤ 都城市がこどものあそびばを整備しているが、三股町がPPPを導入し、交流拠点施設整備事業を進める必要性の根拠について問う。			町長	
	⑥ PPPの枠組みを活かし、庁舎と交流拠点施設を一体化することで、行政機能と地域交流機能を兼ね備えた、より利便性の高い施設とすることができるのではないか。			町長	
4	新坂 哲雄	1 農業対策について	① 10年以上耕作してない農地があるが、何か対策はないか	町長	
			② 耕作放棄地の土地改良賦課金の減免について指導は出来ないか	町長	
			③ 水が来ない水田があるが、何か対策はないか	町長	
	2 家庭ゴミについて		① ゴミステーション設置への支援は出来ないか	町長	
			② 役場周辺のゴミステーションについて環境美化を進めるべきではないか	町長	
			③ 家庭ゴミ袋の無料化は出来ないか	町長	
	3 第5地区防災センターについて		① 第5地区防災センターの法面について現在芝であるが、コンクリート吹付には出来ないか	町長	

# 一 般 質 問

令和7年第2回(3月)三股町議会定例会

3

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手		
5	内村 立吉	1 全国体力テストについて	① 本町の小学5年生の男子・女子の体力テストはどのようであったか。	教育長		
			② 本町の中学2年生の男子・女子の体力テストはどのようであったか。	教育長		
			③ 今後についてはどのようであるか。	教育長		
		2 町税について	① 町税の収納率が減少しているのはどういうことであるのか。	町長		
			② 滞納繰越額が増加しているのはどういうことであるのか。	町長		
			③ 町税の差し押さえ件数と充当金額の推移についてはどのようであるか。	町長		
		3 福留用水路について	① 令和6年度梅雨前線豪雨災害や台風災害における福留用水路の復旧工事の状況、今後の見通しはどのようであるか。	町長		
		4 上米公園整備事業について	① パークゴルフ場新規コースの整備についてはどのようであるか。	町長		
			② 今後の計画についてはどのようであるか。	町長		
		5 上下水道整備事業について	① 全国的に、下水道管の老朽化、耐用年数ということが言われています。本町の下水道管についてはどのようであるか。	町長		
			② 本町における上水道の「鉛管」の状況は。	町長		
		6	堀内 和義	1 放課後児童クラブ施設の現状と統廃合について	① 町内の町営・民営の放課後児童クラブ施設数と定員数及び登録人数はどのようであるか	町長
					② 将来的な児童数の推移は	町長 教育長
					③ 町営施設の中で定員数に満たない施設の統廃合はできないか	町長
					④ 町営施設から民間施設への統廃合の考えはないのか	町長
⑤ 民間施設の新設計画はないのか	町長					
2 家畜防疫対策について	① 町内の畜種毎の飼養戸数と飼養頭数・羽数の実態			町長		
	② 高病原性鳥インフルエンザの防疫対策は万全か			町長		
	③ 九州管内で野生イノシシの豚熱が発生しているが、野生イノシシの防疫対策はされているのか・野生イノシシの感染が確認されたとき、経口ワクチンを散布するのか			町長		
	④ 口蹄疫の防疫対策はされているのか			町長		
	⑤ 消毒機の保有台数と定期点検の実施はされているのか			町長		
	⑥ 消毒薬、消石灰の備蓄はされているのか			町長		
7	堀内 義郎			1 自治公民館について	① 世帯数の減少や物価高などにより、自治公民館の運営や維持管理の負担が増えているが、組織活動補助金の交付基準は見直されているか。	町長 教育長
					② 児童プールの解体除去に伴う跡地の利活用としてグラウンドを整備するため、コミュニティ助成金の申請は出来ないか。	町長 教育長
				2 大谷池下流域の年見川の整備について	① 大谷池下流域の年見川に堆積した土砂のため、大雨時に氾濫の危険性が指摘されているが除去出来ないか。	町長
		3 林道の整備について	① 小鷺巣地区の萩原川上流(西部生コン(株)宮村砕石場の奥)の林道の整備について、以前から台風などにより林道に土砂が流入し通れないため、山林の伐採が出来ない状況であるが早急に整備出来ないか。	町長		
		4 都市公園について	① 植木公園について遊具の新規設置に伴い利用者が増えており、駐車場が足りなく新たに増して欲しいとの要望を聞くが整備は出来ないか。	町長		
			② 公園の数が大小合わせて人口に対して多いとあるが、町のHPやQRコードなどを掲載して公園の整備状況など紹介しても良いのではないか。	町長		
			③ 公園内での「火気使用」についてはどうなのか。(特に上米公園の桜まつりでの使用はできるのか)	町長		
		5 少子化対策について	① 出会う機会の減少、未婚化、晩婚化が進む独身の方の出会いの場としての提供として婚活イベントの予定とあるが、今後の取り組みはどのようなのか。	町長		
			② マッチングアプリ利用についての取り組みと支援は考えられないか。	町長		

# 一 般 質 問

令和7年第2回(3月)三股町議会定例会

4

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手		
8	楠原 更三	1 職員心得10か条について	① 策定前と策定後を比べての所感(含、策定の背景と策定目的)。	町長		
			② 10か条の取り扱い現況。	町長		
			③ 町民への周知状況(含、今後の対策)。	町長		
			④ 策定後の行政サービスに対する町民の評価は。	町長		
		2 地域公共交通計画について	① デマンドバス実証実験の結果。	町長		
			② 当初計画されていた地域での実証実験の予定は。	町長		
			③ 乗りたい日時、場所を事前予約して利用する乗り合いバスの呼称は。	町長		
		3 文化財について	① 町指定文化財が少ないという現状をどう考えられているのか。	町長 教育長		
			② 町史改訂版にあった41件の史跡の中で、新町史に掲載されていないものが20数件あり、新たに掲載された文化財が無形文化財以外に11件ある。どのような手続きが行われたのか。	教育長		
			③ 町指定文化財とその他の文化財について町としての対応の違い、及び、所有者としての立場の違い。	教育長		
			④ その他の文化財の中で、指定に値すると思われるものはあるか。	教育長		
			⑤ 文化財の町指定の手続き上の動きはどのようにになっているか。	教育長		
			⑥ 梶山城の国指定への最新の手続き状況。	教育長		
		9	上西 雅子	1 公民館支部加入率が低下している事の影響と対応策について	① 町内各地域で、公民館支部加入率が低下している事が顕著であるが、その影響について町はどう考えているか。	町長 教育長
					② 町のサービスや議会の動向等の周知が行き届かない事で、サービスの恩恵を受けられない人たちがいる事は、公平性が担保されていないのではないかと感じるが、町はどう考えているか。	町長 教育長
③ 災害が起きた時、公助だけでは手が回らず、互助の力が必要と考える。支部加入率低下により、そうした「相互の助け合い」が十分に出来ず、防災対策そのものに支障がでるのではないか。	町長 教育長					
④ 支部加入率向上の為に、「地域コミュニティ」の大切さを訴える等、これまで以上に町行政が力を入れていくべきではないか。	町長 教育長					
2 交通弱者に対する移動サービスについて	① 現在試験運行しているオンデマンド交通の内容と目的は。			町長		
	② 「地域公共交通会議」の成果と課題は。			町長		
	③ 「地域公共交通会議」に、障がい者当事者や、免許返納者当事者は入っているのか、あるいは意見が反映されているのか。			町長		
	④ 交通弱者と言われる障がい者や、免許返納者に対して、町が行っているサービスはどのようなものか。			町長		
	⑤ 近隣市町にある専門の病院受診を勧められる高齢者が多い。免許を返納し公共交通機関で行かざるを得ない人たちから、不便を感じているとの声を聞く。そのことについて、今後の展望を含め意見は。			町長		
	⑥ 交通弱者に対して、タクシー利用券ないし割引券を配布する、あるいは独自の移動支援サービスを提供することはできないか。			町長		
3 要支援者に対する防災対策について	① 前回の一般質問にて、要支援者への福祉避難所が1ヶ所しかない為、今後増設する方向でいるとの答弁だったが、その後の具体的な進展について問う。			町長		
	② 同様、要支援者の災害時の個別避難計画の作成が8人との答弁だったが、その後の作成に向けた取り組みの計画は。			町長		